

第1回イブニングサロン開催報告

1. 日 時：平成21年6月29日(月) 16:00～18:00
2. 場 所：(財)電子科学研究所 心齋橋研修センター
(サンエイビル1階)
3. テーマ：「ナミのはなし」
4. 講演者：高知工業高等専門学校 教授 寺田幸博

本年度第1回のイブニングサロンは、関西から四国へ移られた寺田幸博教授を久しぶりに講師としてお迎えしました。神戸、大阪のインフルエンザ騒動の後ではありましたが、寺田教授の「ナミのはなし」というユーモアたっぷりの講演予告に興味津々な約20人が集まり、有意義な時間を過ごしました。「ナミのはなし」とは、津波による被害などを避けるため、海の波の波高（波峰と波谷の差）を精度よく測定する手法についての話です。この波高の測定手法は、国土交通省港湾局プロジェクトとしての「波浪計」や気象庁の津波情報のための「津波計」として採用されており、高校の地図帳（帝国書院、P124）にも記載されているという大変貴重な話でした。前半は、ベルヌーイの定理や輸送される波のエネルギーの式などが連発し、ビールを飲み始めるのを忘れるほど頭をフル回転させましたが、後半は、室戸岬沖での波高の観測結果など、迫力ある実例を交えた紹介がありました。津波の被害から人々を守るために開発されたこの技術を大変頼もしく感じるとともに、参加者の議論も大いに盛り上がりました。また、今回の「ナミのはなし」は、海の波に限らず、超音波探傷やアコースティックエミッションへの応用も考えられ、流石ながら、講師の参加者への配慮も感じさせる講演でした。

(文責：関西支部 緒方隆昌)





